

325 感染症対策の推進

32501 感染症危機管理体制の確保

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 法に規定されている感染症の患者が発生した場合、患者や家族等の接触者に対して調査や検査を実施し、まん延を防止します。
2. エイズを含む性感染症のまん延防止を図るため、知識の普及、啓発を図るとともに、相談や検査を実施します。

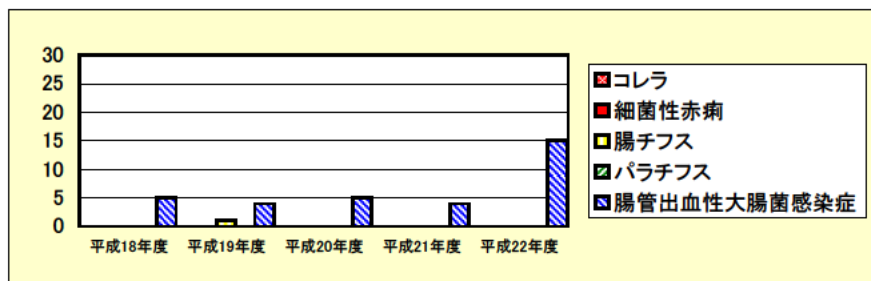
1 感染症の予防事業

感染症発生時において、患者調査と家族、接触者検診の実施および感染拡大防止のための措置を講じた。

- (1) 一類感染症発生状況 0件
- (2) 二類・三類感染症発生状況（結核を除く） 15件

種別 年度	二類感染症				三類感染症				
	急性灰白髄炎	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	鳥インフルエンザ(H5N1)	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス	腸管出血性大腸菌感染症
H18	—	—	—	—	—	—	—	—	5
H19	—	—	—	—	—	—	1	—	4
H20	—	—	—	—	—	—	—	—	5
H21	—	—	—	—	—	—	—	—	4
H22	—	—	—	—	—	—	—	—	15

三類感染症の発生状況推移



- (3) 二類・三類感染症対策検査実施状況（結核を除く）

		医療機関からの依頼	家族及び接触者	菌陰性化検査	その他	計
実検体数		(1) 3	(6) 37	(2) 21	—	(9) 61
二類	急性灰白髄炎	—	—	—	—	—
	ジフテリア	—	—	—	—	—
	重症急性呼吸器症候群	—	—	—	—	—
	鳥インフルエンザ(H5N1)	1	—	—	—	1
三類	コレラ	—	—	—	—	—
	細菌性赤痢	—	—	—	—	—
	腸チフス	—	—	—	—	—
	パラチフス	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌感染症	(1) 2	(6) 37	(2) 21	—	(9) 60

※ () 内は陽性者数を再掲 (内数)

2 エイズ対策促進事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び抗体検査を実施しています。

(1) エイズ対策特別促進事業

ア 桑名駅前キャンペーン

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成22年12月1日 7:40～8:20	桑名駅東 口ロータ リー周辺	保健所 職員 5名	啓発ティッシュ1,000個配布

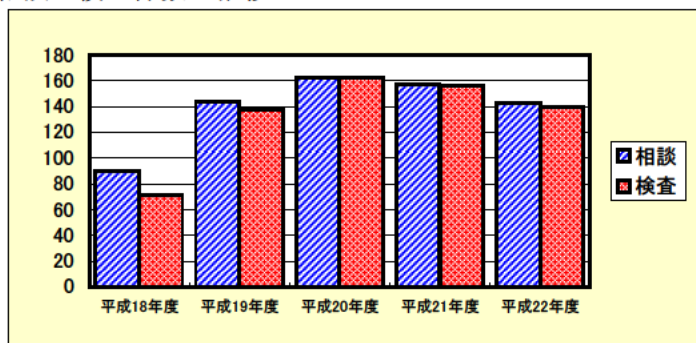
イ エイズ講演会

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内容
平成22年11月24日 19:00～21:00 菰野町役場保健福祉センター けやきホール	医療スタッフ 及び学校・行政 関係者	59名	講義Ⅰ「三重県における性感染症4疾患全数把握調査結果と今後の課題」 講師 保健環境研究所 疫学研究課 高橋 裕明 氏 講義Ⅱ「いきなりエイズ」と「やってよかったHIV抗体検査」と「やらなければよかったHIV抗体検査」 講師 名古屋医療センター 医師 横幕 能行 氏

(2) HIV抗体検査、電話相談者数

	男	女	計
エイズ相談件数	86	57	143
HIV抗体検査件数	84	56	140

相談・検査件数の推移



(レッドリボン)

(3) エイズ相談・検査実施日時

毎週火曜日 午後1時～午後2時30分

(4) 緊急肝炎ウイルス医療機関委託検査事業

	男	女	計
B型肝炎	17	16	33
C型肝炎	17	16	33

4 予防接種

予防接種法に基づき円滑に予防接種の実施ができるよう、市町、医師会等と連携を図るとともに、予防接種による健康被害に関する救済事務を行っています。

32502 感染症予防および治療体制の充実

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 結核患者の早期発見・早期治療のため、定期及び定期外健診・結核対策等を実施し、まん延の防止を図ります。

1 結核予防事業

平成19年4月からは感染症法2類として結核が位置づけられた。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図った。

(1) 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めた。

ア 新登録患者数 (活動性分類、性別、年齢階級別)

平成22年1月1日～平成22年12月31日

病型別 年齢区分	計		活動性結核										(別掲) 潜在性 結核感染症						
			肺結核活動性						肺外結核										
			喀痰塗抹 陽性			その他 結核菌陽性			菌陰性・ その他			活動性							
計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女					
計	44	31	13	8	5	3	12	8	4	4	4	-	20	14	6	1	-	1	
0～4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29	2	1	1	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39	3	3	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
40～49	4	4	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-
50～59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60～69	6	5	1	-	-	-	1	1	-	1	1	-	4	3	1	-	-	-	-
70～	29	18	11	6	3	3	7	4	3	2	2	-	14	9	5	-	-	-	-

イ 年末現在登録者数(活動性分類、受療状況別)

平成22年12月31日現在

病型別 区分	計		活動性結核				肺外結 核活動 性	不活動性 結核	活動性 不明
			肺結核活動性						
			計	喀痰塗抹 陽性	その他 結核菌陽性	菌陰性、 その他			
計	97	12	2	8	2	18	65	2	
入院中	-	-	-	-	-	-	-	-	
外来治療中	30	12	2	8	2	18	-	-	
治療なし	67	-	-	-	-	-	65	2	
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	

ウ 市町別結核登録患者の状況

平成22年12月31日現在

病型別 市町別	計	活動性結核				不活動性結核	活動性不明	人口10万対	
		肺結核活動性			肺外結核活動性			活動性結核の有病率	
		喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他				21年	22年
管内計	97	2	8	2	18	65	2	15.8	10.6
桑名市	56	2	5	1	8	39	1	16.3	11.4
いなべ市	15	-	3	1	2	8	1	17.1	13.1
木曽岬町	1	-	-	-	-	1	-	-	-
東員町	11	-	-	-	4	7	-	27.4	15.6
菰野町	7	-	-	-	2	5	-	12.5	5.0
朝日町	2	-	-	-	-	2	-	10.7	-
川越町	5	-	-	-	2	3	-	7.2	14.3

エ 市町別結核新登録患者の状況

平成22年1月1日～平成22年12月31日

病型別 市町別	計	活動性結核					罹患率	(別掲) 潜在性結核感染症
		肺結核活動性				肺外結核活動性		
		計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他			
管内計	44	24	8	12	4	20	15.6	1
桑名市	25	16	6	7	3	9	17.8	1
いなべ市	7	5	1	3	1	2	15.3	-
木曽岬町	-	-	-	-	-	-	-	-
東員町	5	-	-	-	-	5	19.5	-
菰野町	4	2	1	1	-	2	10.0	-
朝日町	-	-	-	-	-	-	-	-
川越町	3	1	-	1	-	2	21.4	-

(2) 結核検診実施状況

平成22年度

対象別	項目	予防接種			胸部エックス線撮影		喀痰検査者数	QFT検査	結核患者発見者数
		対象者数	ツ反応検査者数	陽性者数	BCG接種者数	対象者数			
定期	計	2,531	-	-	2,519	76,044	22,699	5	-
	事業者	-	-	-	-	7,352	6,630	-	-
	学校長	-	-	-	-	2,201	2,198	-	-
	施設の長	-	-	-	-	982	972	1	-
	市町長	2,531	-	-	2,519	65,509	12,899	4	-
定期外	計	/	3	-	-	/	124	-	53
	接触者	/	1	-	-	/	53	-	34
	患者家族	/	2	-	-	/	58	-	19
	患者管理	/	-	-	-	/	13	-	-

(3) 市町別一般住民結核健康診断実施状況

平成22年度

項目 市町別	住民健 診対象 者数 (A)	BCG対 象者数 (B)	BCG接 種人員 (C)	(C)/(B) %	胸部エックス線撮影			(D)/(A) %	結核 患者 発見 数 (G)	(G)/ (D) %
					受診人員					
					間接撮影数	直接撮影数	計(D)			
計	65,509	2,531	2,519	99.5%	11,131	1,763	12,894	19.7%	-	-
桑名市	29,634	1,242	1,242	100.0%	3,569	357	3,926	13.2%	-	-
いなべ市	10,431	346	339	98.0%	2,898	-	2,898	27.8%	-	-
木曾岬町	1,878	38	38	100.0%	444	355	799	42.5%	-	-
東員町	5,620	198	198	100.0%	1,910	488	2,398	42.7%	-	-
菰野町	9,114	362	357	98.6%	1,441	-	1,441	15.8%	-	-
朝日町	3,545	161	161	100.0%	799	-	799	22.5%	-	-
川越町	5,287	184	184	100.0%	70	563	633	12.0%	-	-

(4) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

ア 感染症法第37条申請診査件数 平成22年度

申請別 区分	計	新規申請	継続申請	解除
申請件数	20	12	8	9
承認件数	20	12	8	9

イ 感染症法第37条の2申請診査件数(継続申請除く)

平成22年度

区分 保険別	計	被用者保険		国保	後高	生保	その他
		本人	家族				
申請件数	50	8	1	11	30	-	-
承認件数	50	8	1	11	30	-	-

(5) 感染症診査協議会委員名簿(順不同)

平成23年4月1日現在

氏名	役職名
北川 良子	桑名市民病院 内科
笠井 寛司	笠井内科 院長
菅原 望	いなべ総合病院 内科
郡 なな子	桑名人権擁護委員協議会(人権擁護委員)
山口 順	三重県社会保険労務士会(社会保険労務士)

(6) 結核健康相談開催

接触者健診及び管理検診

毎月第1、3週の木曜日 午後2時30分から午後3時 受付

(7) 結核対策特別促進事業

ア 目的

介護サービスを利用している在宅療養の方々への支援を行っている介護支援専門員の方々に、結核について正しい知識を持ち、服薬の重要性、継続治療の必要性について理解していただくことを目的とする。

イ 事業内容

- 1) 講演会：「感染症（結核）について～結核ってどんな病気～」
- 2) 対象者：三重県介護支援専門員協会桑員支部会員
- 3) 参加者：80名

ウ 「結核患者服薬支援（DOTS）」

医療機関とのDOTSカンファレンス

【四日市社会保険病院】 12回

日時：定例実施 毎月第1月曜日 午後3時～

場所：四日市社会保険病院

参加者：四日市社会保険病院 結核担当看護師 外来看護師

桑名・鈴鹿・四日市市保健所結核担当保健師

対象者：四日市社会保険病院に結核にて入院中の患者

検討実人数 6名（延べ12名）

地域DOTS報告人数 11名（延べ39名）

地域DOTS終了報告人数 5名

DOTS支援

- 1) 新規登録患者（37条）の内、訪問あるいは所内面接を実施した者 12名
- 2) 登録患者で訪問および所内面接DOTS支援の実施
継続訪問あるいは所内面接を実施した者 2名（延べ27回）
- 3) 連絡確認DOTS支援 対象者 : 10名（延べ50回）

エ 成果

平成20年度・21年度の高齢者介護施設事業者等へのアンケート調査を実施した結果、結核についてはある程度学んではいるが、サービス開始に当たっては職員への感染を心配し、DOTS支援についてもほとんど普及していないことがわかった。については継続した普及啓発が必要と思われるが、参加者側の業務の都合もあり、既存の研修会の中での開催を企画した。研修後のアンケートでは「在宅支援をするうえで必要な内容だった」「事業所全体で感染予防について考える必要がある」「何度も繰り返し学習していきたい」等前向きな意見が出された。このことからそれぞれの職員が、結核について学んでいきたいとの思いがあり、今後も感染予防を含め、正確な情報と知識について啓発していくこと、またDOTSに関しても職員の理解を得ながら普及を図っていくことが必要と考える。

DOTS支援については、入院時から本人に面接を行うことで信頼関係を築くことができ、また、定期的にDOTSカンファレンスを開催することにより、医療機関と保健所間の連携強化が図られた。

オ 今後の課題と23年度の計画

- 1) 高齢者福祉施設職員や居宅サービス事業所職員等に対して、研修会等を行うことにより、結核対策の強化を図る。
- 2) 医療機関と地域との連携のもと、DOTSを推進し服薬支援体制を整備する。
- 3) DOTS支援を行ううえで、抗結核剤を処方する薬局の果たす役割は大きいと、管内で結核指定医療機関となっている薬局に対し、アンケート調査を行い支援方法等について検討する。